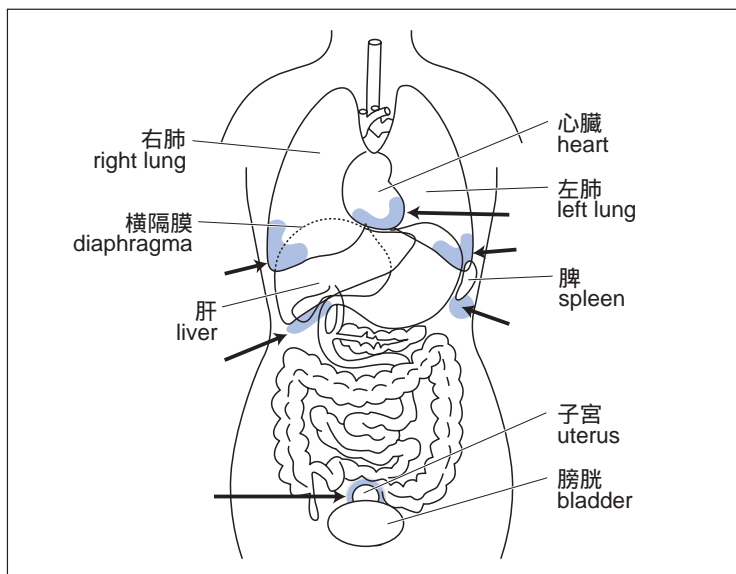


12 FAST

focused assessment with sonography for trauma

a. FASTについて



図a FASTにおける注目部位

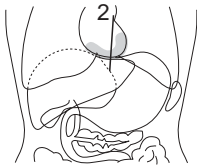
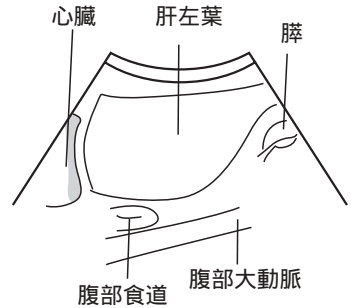
FASTにおける注目部位

横隔膜は左右両側にドーム状としてみられる。右横隔膜直下に肝，中心部に心臓，左側に脾が接している。腹水，血液，膿瘍はエコーフリースペース echo free space として描出されるため，病態の2次的変化を評価する上で大切な所見となる。近年特に，外傷における「FAST」が提唱されるようになった。FASTは focused assessment with sonography for traumaを意味し，緊急時に欠かすことのできない観察部位である。

心タンポナーデの有無， は左右血胸の有無，腹腔内出血の有無を知るのに モリソン窩， 脾下面， ダグラス窩について観察する。いずれの場合も，所見があればエコーフリースペースとして描出されるが，臓器損傷についての検索など，しつこい検索は必要としないとされ，あくまで緊急時対応での所見のとり方である。図aにFASTにおける注目部位を示す。

b. FASTの走査と正常像

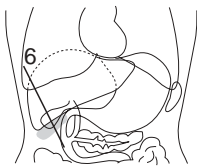
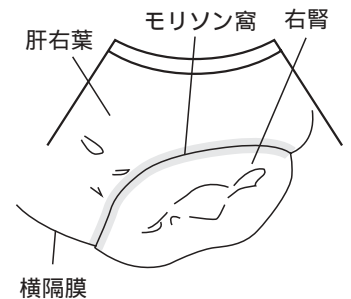
本走査法からみたFASTの走査は2・6・7・12・13・15番になる．FASTの走査と正常像について示す．



2. 心尖部を描出

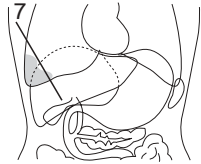
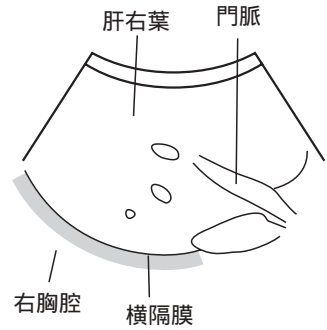
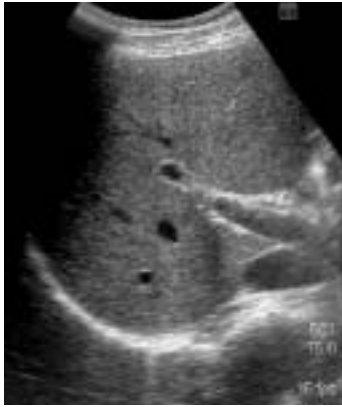
肝左葉と腹部大動脈を描出し，探触子を頭側へ傾け心嚢液の貯留について観察する．

- 心嚢液貯留が疑われる場合，セクタ探触子を用い再度確認するのがよい．



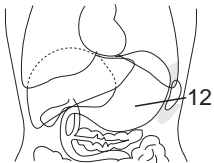
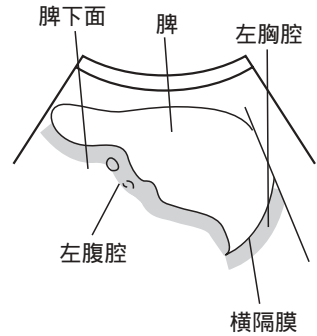
6. モリソン窩を描出

肝右葉と右腎を描出し，モリソン窩 Morison's pouch に腹腔内出血の存在について観察する．少量の場合モリソン窩に管腔状の像を示す．



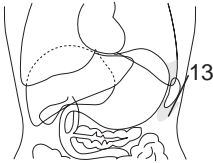
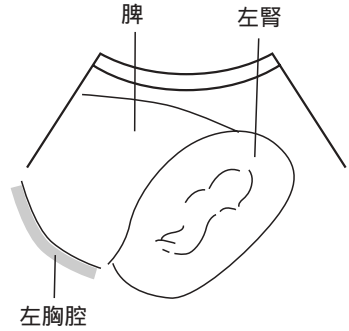
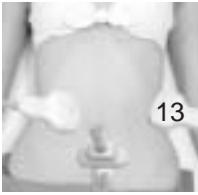
7. 右横隔膜(右胸腔)を描出

右横隔膜を描出し、右胸腔内における血胸について観察する。



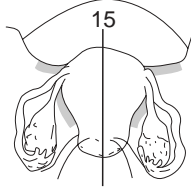
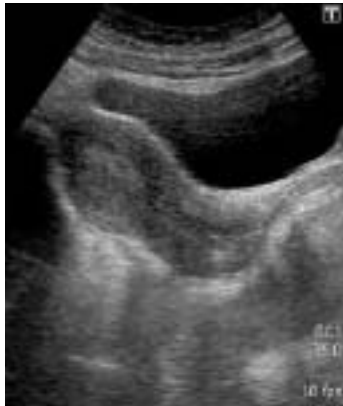
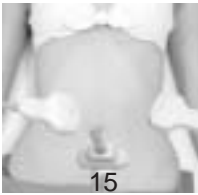
12. 左横隔膜(左胸腔)を描出

脾を描出し、左胸腔内における血胸および脾下面の腹腔内出血について観察する。



13. 脾の長軸像を描出

脾と左腎長軸像を描出し、左胸腔および腹腔内出血について走査方向を変え観察する。



15. 膀胱を描出

膀胱を介し子宮、前立腺(男性)を描出し、直腸子宮窩 Douglas pouch または直腸膀胱窩 rectovesical pouch に溜まる腹腔内出血について観察する。

- ・生殖年齢にある女性では、排卵がエコーフリースペースとしてみられるため鑑別に注意する。